

## 令和6年度第2回沿岸広域振興圏地域連携懇談会 開催概要

### 1 日時

令和6年12月11日(水) 午後2時30分～午後4時30分

### 2 会場

釜石地区合同庁舎 4階 大会議室

### 3 出席者

#### (1) 構成員(五十音順)

荒谷 榮子 構成員、内金崎 加代子 構成員、金澤 辰則 構成員、河野 通洋 構成員、  
佐々木 淳子 構成員、佐々木 康行 構成員、佐藤 智子 構成員

#### (2) 沿岸広域振興局

##### 【会場】

工藤 直樹 局長、佐藤 朝則 副局長兼復興防災部副部長、  
植野 歩未 副局長(宮古市駐在)、沖野 智章 副局長(大船渡市駐在)、  
畠山 剛 経営企画部長兼復興推進室長、  
菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長、林 春彦 農林部長、  
工藤 飛雄馬 水産部長、佐々木 雅章 土木部長、田代 亮 経営企画部管理主幹兼総務課長、  
梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長、佐々木 千津子 経営企画部企画推進課長、  
鈴木 修 経営企画部特命課長(市町村人口減少対策支援)

##### 【オンライン】

##### (宮古地区)

大内 毅 宮古地域振興センター所長、  
小野寺 利幸 宮古地域振興センター主幹兼地域振興課長兼復興推進課長、  
佐藤 慎吾 宮古地域振興センター特命課長(復興支援)、  
吉田 雅則 宮古保健福祉環境センター所長兼岩手県宮古保健所次長、  
村居 拓道 宮古農林振興センター所長、  
竹花 光弘 宮古農林振興センター特命参事兼林務室長、  
島 輝夫 宮古農業改良普及センター技術主幹兼産地育成課長、  
遠藤 敬 宮古水産振興センター水産振興課長、佐藤 秀和 宮古土木センター所長、  
藤島 謙 岩泉土木センター所長

##### (大船渡地区)

寺澤 敬行 大船渡地域振興センター所長、  
佐々木 修 大船渡地域振興センター地域振興課長兼復興推進課長、  
横澤 嘉宗 大船渡地域振興センター特命課長(復興支援)、  
赤岩 正昭 大船渡保健福祉環境センター所長兼岩手県大船渡保健所次長、  
長谷川 和弘 大船渡農林振興センター所長、伊藤 一成 大船渡農業改良普及センター所長、

荒木 貴郎 大船渡水産振興センター水産振興課長、吉田 健一 大船渡土木センター所長、  
菊地 健司 大船渡土木センター住田整備事務所長

### (3) オブザーバー

島山 拓也 陸前高田市政策推進室係長、安藤 彰紀 大槌町企画財政課主査、  
佐藤 光 山田町政策企画課主事

### (4) 報道・傍聴者

1社

## 4 概要

### (1) 開会

### (2) 挨拶

**工藤 直樹 局長**

- ・ 日頃から、皆様にはいろいろ大変お世話になっておりまして、ありがとうございます。そして、本日もお忙しいところ御出席いただきまして、本当にありがとうございます。
- ・ 沿岸圏域は人口減少問題、主要魚種の不漁、物価高騰、相次ぐ台風や記録的大雨などの自然災害、依然としてそのほか様々な課題に直面していて、厳しい状況が続いているところ。
- ・ 一方で、今年度は、多くの大型クルーズ船の宮古や大船渡への寄港、みちのく潮風トレイルが海外からの注目度が高まっていることによるインバウンドの増加、東日本大震災津波伝承館の来館者数の110万人突破など、明るい話題も多くなっている。来年度は、釜石の橋野鉄鉱山では世界遺産登録10周年を迎え、JR東日本では行政と連携して交流人口の増加を目指す重点共創エリアに岩手県が選ばれるなど、更なる地域振興の好機として期待される所。
- ・ 沿岸広域振興局としては、そうした好機もしっかりと捉え、引き続き、市町村、関係団体、地域で御活躍していらっしゃる皆様方などの様々な方々と連携・協働しながら、沿岸圏域の特に3つの大きな課題である自然減・社会減対策、水産業・水産加工業といった主要産業の振興、増えている鳥獣被害対策や防災・減災対策などの安全・安心な地域づくりに重点的に対応しつつ、岩手県民計画の地域振興プランによる諸施策を推進し、地域の諸課題の解決と地域振興に取り組んでいきたいと考えている。
- ・ 本日の懇談会では、当振興局の昨年度の活動への評価や、来年度の取組の方向性などについて御説明をさせていただいて、皆様から御意見をいただき、今後の施策に生かしていきたいと考えている。
- ・ 忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げ、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしく申し上げます。

### (3) 出席者紹介

## (4) 報告

### ア 令和6年度第1回沿岸広域振興圏地域連携懇談会における御意見に係る対応の方向について 事務局から資料No.1に沿って説明

#### 佐々木 康行 構成員

- ・ ニホンザルによる被害の件について、御回答いただきまして誠にありがとうございました。
- ・ ただ、生息や被害状況の把握に努めて、関係市町村と連携して対策に取り組んでいくとあるが、具体的な対策を検討しているのか。
- ・ 今後、きちんと個体群管理していかなければ、ますます被害が増えていく一方で、全県的にニホンザルの個体が増えていって、最終的に手遅れの状況になってしまう可能性もあると思う。被害に遭ってしまった農家は、怖いから畑を耕さなくなり、耕作放棄地もどんどん増えていく。可能な限り早期の管理計画づくりに着手していただき、被害を最小限に止めていただけるようお願いしたい。

#### 菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長

- ・ ただいま御意見いただいた件については、気仙地域を中心とした市町村からも御要望等をいただいております。現在、県庁と一緒に対策や事業の方向性などについて、具体的かつ前向きに検討している。来年度には、何らかの形にしながら進めていきたいと考えており、管理計画に直結するものかは検討中であるが、引き続き御理解と様々な御意見を頂戴できればと考えているので、よろしくお願ひしたい。

### イ 令和5年度沿岸広域振興圏施策評価（確定版）について

事務局から資料No.2-1～2-3に沿って説明

#### 河野 通洋 構成員

- ・ 特に産業面の課題抽出と目標設定とその達成状況について、納得がいかないところがある。水産加工業などの製造業の経営力強化に取り組み、1人当たりの製造品出荷額が3,100万円を超えているが、これだけ三陸で海のもものが獲れておらず、私の耳に入ってくる話と施策評価の数字が乖離している。これは一体どういうことか。

#### 梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長

- ・ 御指摘のとおり水産加工業界は大変厳しい経営環境状態にあるが、ものづくりのすべてが入っており、その他のところでカバーした結果このような数字になっていると思われる。

#### 河野 通洋 構成員

- ・ 水産加工業などの製造業の経営力強化に取り組んだ結果、目標を達成したと書いてあるが、その具体事例は如何。

**梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ 水産加工業者を中心に、商工指導団体や大手の監査法人などと個別の経営指導や、セミナー等の開催などにより、経営力向上に向けた支援を行っているところであるが、その他のところが好調なことで結果的にこういう数字になっている。

**河野 通洋 構成員**

- ・ 大槌のサケの養殖の部分の金額も入っているのか。

**梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ 日本標準産業分類上、水産食料品製造業に分類される部分があれば含まれる。

**河野 通洋 構成員**

- ・ 細かいところを把握していないのは仕方ないが、実態の経営環境と経営課題に即して目標が設定されるべきと思うが、これでは、客観的に水産業が全く問題ないという認識になり、次年度以降の課題設定と目標設定に乖離がもっと出てくると思われる。地域の水産業が非常に苦しい状態になっているはずなのに、この文面とこの目標の達成率から大丈夫だと捉えられかねない。

**梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ 製造業のすべての業種を含めた数字のため目標を達成した形になっているが、各事業者の経営状況については、この数字だけで判断はしていない。特に水産加工業者については、商工指導団体との意見交換や企業訪問などで、非常に苦しい経営状況であることを承知しており、来年度は、特に水産加工業者に対して踏み込んだ形で経営支援をさせていただこうと考えている。

**河野 通洋 構成員**

- ・ 本当に地域産業の再生のための課題抽出が細かくされているのか、これでは数字の信憑性が疑われてしまう。経営的に全然問題ないという形になり、次の課題抽出と目標設定は甘くなると思う。施策評価の基準と課題抽出が、本当にこれで合っているか真剣に議論していただきたいと思う。ただいまの質疑応答や説明でさらに不安を感じた。

**工藤 直樹 局長**

- ・ 河野構成員のおっしゃることはそのとおりだと受け止めた。施策評価の 35 ページに記載している内容は言葉足らずで、水産加工業などの製造業の経営力強化に取り組んだというのは、非常に厳しい状況の水産加工業の支援・強化に今年度取り組んだが、引き続き大きな課題ということでも今後も取り組む必要があると思っている。
- ・ 一方、目標を達成したというのは、指標には水産加工業に限らずそのほかのいろいろな製造業全部が入っており、そのほかの製造業が好調だと全体としては実績が上がったことになる。
- ・ 水産加工業の数字が上がっているか把握はしているか。

**梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ 個別に訪問させていただいており、非常に苦しい状況であることはしっかり把握している。

**工藤 直樹 局長**

- ・ 先ほど説明したように、ほかの業種が上がり指標の目標は一応達成したが、課題はまだあると受け止めて、来年度の取組を現在検討している。その辺が言葉足らずであったと思う。

**河野 通洋 構成員**

- ・ そのようにおっしゃるのであれば、1従業員当たり3,150万円の出荷額というのは、どの産業でそれを牽引しているのか。農業の出荷額にいたっては、おそらく1人当たり数百万程度。水産業だけでなく、農業や我々製造業も、出荷額が伸び悩んで苦しんでいる。

**梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ この指標には一次産業は入っていない。主に工業製品の方の一部の絶好調な企業が牽引していると推察される。

**植野 歩未 副局長（宮古市駐在）**

- ・ ただいまの河野社長のおっしゃることはそのとおりであり、宮古も同じような状況。
- ・ この製造品出荷額については、先ほど説明があったとおり沿岸圏域全体の製造業の1人当たりの出荷額を集計しているので、例えば、気仙であればセメント、宮古であればコネクタなどの電子部品の産業も全部含めるとこの数字が出てくる。
- ・ ただし、特に従業員数の多い水産加工業において、現場の意見が非常に厳しい状況なので、そのような業種に集中して支援をしていく必要性を感じているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

## **(5) 懇 談**

### **令和7年度沿岸広域振興局施策推進の方向について**

事務局から資料No.3に沿って説明

**荒谷 榮子 構成員**

- ・ 宮古港には、令和7年度に外国クルーズ船が13回寄港するようだが、教育的にもとても有効なものだと思う。今年度、初めて公立の中学校に外国の方々20名くらいが訪問し交流したとのこと。旅行会社の提案だったようだが、郷土芸能の披露等、中学生が一生懸命おもてなしをしたことで大変有意義な交流となり、外国の方々も大変喜ばれたとのこと。これからも、このような意義のある取組を進めていただきたい。また、今回の交流の内容は生徒会で話し合われたと思われるが、先生たちが全て決めるのではなく、中学生の若々しくエネルギッシュな意見を今回のように取組等に反映していただくなど中学生の意見を大切にしていきたい。

- ・ 今年、学校や保育所を 10 回ほど訪問したが、子どもの数が非常に減少していると感じ、大きな問題だと思う。中学校の部活動では連合チームを作ったり、小学校では交流学習を進めたりするなど現場ではとても苦労されているようで、応援していきたいと思う。
- ・ 東日本大震災からの復興について、一見落ちているように見えるが、苦しんでいる方はたくさんいると思う。今後も被災者のこころのケアに関する支援が必要だと思う。
- ・ 東日本大震災からもうすぐ 14 年になるが、発災当時からずっと支援してくださっている方がおり、鎌倉の方たちから今年は手作りのキルトを送っていただくことになっている。これからもずっと支援しますよという励ましをいただいている。
- ・ 空き家が増えていることが残念で、何とかしなければいけないと思う。
- ・ 宮古市では、今年度初めて学校公開研究会に高校生の希望者を招待した。大変立派な高校生の姿に驚き、新しい風が吹いてきたと嬉しく思う。キャリア教育の一環として、今後、このようなことが広がり夢に向かう高校生を激励したいものである。

#### **梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ クルーズ船について、中学生によるおもてなしがあったということで、大変うれしく思う。来年度もクルーズ船の乗船者に対するおもてなしは継続していく方向で考えており、今年度の取組をしっかり分析して、来年度も一生懸命取り組んでいきたい。
- ・ 高校生が小学校を訪問して学ぶ機会があったということで、大変よい取組だと感心をさせられた。キャリア教育については、特にものづくり産業人材の育成に取り組んでいる。若年層からキャリア教育を施す必要性と重要性はしっかり認識しており、現在は、特に中学生に対して企業見学会等を実施しているが、小学生も視野に入れながら取り組んでいきたいと考えている。

#### **菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長**

- ・ 人口減少対策について、教育委員会の御協力もいただきながら部局横断で様々な少子化対策に取り組んでおり、次年度も引き続き取り組んでいかなければならないと考えている。
- ・ こころのケアについては、発災以降、岩手医大の協力も得ながら沿岸地域 4 か所でこころのケアセンターを開設し、現在も取組を進めているところ。沿岸局としても、健康な身体づくりと併せたこころのケアに係る取組を進めており、次年度以降も、引き続き取り組んでいくこととしている。

#### **佐々木 康行 構成員**

- ・ 橋野鉄鉱山の世界遺産 10 周年に関する取組は、非常にありがたいことだと思っている。ただし、橋野鉄鉱山は、ガイドがいないと魅力が伝わりきれない場所と思われ、また、ガイドの方々も高齢化し、厳しい状況になっていると思う。そこで、今、デジタル技術が進歩してきて、ARを活用している地域もあるようだ。岩手県内の貴重な遺産を、今後、デジタル技術を活用してより魅力的な地域資源にブラッシュアップしていくことが非常に重要かと思うので、今後御検討いただきたい。

- ・ 佐々木 朗希選手が大リーガーになられるとのこと。大谷選手が大リーグで活躍された際に、内陸や東京の銀河プラザでは非常ににぎわったという話をお聞きしている。佐々木 朗希選手が大リーグで活躍されることを期待するとともに、沿岸地域の PR 活動に御協力いただけるような働きかけをしていただければ、より沿岸地域が活性化していくと思う。

#### **佐々木 千津子 経営企画部企画推進課長**

- ・ 橋野鉄鉱山について、橋野鉄鉱山インフォメーションセンターでは、AR タブレットと音声ガイドペンをお借りできる仕組みになっているようだが、コンテンツの内容等について、御意見があったことは釜石市にもお伝えしたいと考えている。
- ・ 佐々木朗希さんの関係については、地域経営推進費等を活用した取組が可能かと考えているので、今後検討していきたいと考えている。

#### **畠山 剛 経営企画部長兼復興推進室長**

- ・ 有名な選手への PR のお願いについては、難しい部分もあるようだが、本庁とも連携しながら、やり方をうまく考えていければよいと思う。

#### **内金崎 加代子 構成員**

- ・ 飲食店もなかなか苦戦しており、一時期、クーポン券等を出していただいたこともあったが、そういうものが今後もあればよいと思う。地元の海産物を使いたい気持ちはあるが、価格が高いため、その辺を補助していただき、地元のを地元のお店で使えるようにしていただきたい。
- ・ i-サポについて、前は好評で、抽選しなければならぬほどだったと思うが、その後、何組結婚したかというのは把握しているか。
- ・ 公営住宅の空き家が目立っているように思う。U ターンの方が家を探すのが大変なので、空いている公営住宅が活用できればよいと思う。また、地域おこし協力隊の任期終了後に仕事や住む場所に関するサポートがあればよいと思う。

#### **梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ 飲食店の関係について、今年度、釜石市ではかまいしエール券という商品券の発行による地域経済の活性化を図る取組を実施したと承知しており、釜石市をはじめ市町村の商工観光担当と意見交換する機会がたくさんあるので、そのときに来年度の取組について働きかけを行っていきたいと思う。

#### **菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長**

- ・ i-サポのデータは持っていないが、沿岸局で実施した婚活イベントでは、大槌で実施したときも盛況で、カップル成立率は66%だった。結婚はまだだとは思いますが、食事券を差し上げて、その後もお付き合いが続くよう取り組んでいるところ。先日、宮古地域で開催した際も盛況で、カップル成立率は87%と好調だった。今年度、大船渡地域でも開催する予定なので、引き続き頑張っていきたい。

**内金崎 加代子 構成員**

- ・ 最近、なぜ婚活イベントが盛況なのか。

**菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長**

- ・ 若い方に多く来ていただくために SNS やチラシで地道に周知活動を行ったほか、女性に来ていただくために交通費を助成していることが、参加者が増えている要因だと考えている。

**内金崎 加代子 構成員**

- ・ とてもよいと思うので、引き続きよろしくお願ひします。

**佐々木 雅章 土木部長**

- ・ 公営住宅の空き家について、まず、災害公営住宅は一般化し、一般の方も入居できるような仕組みをすでに構築しているところ。また、新たに岩手県へ移住する方等の若い方に対して、令和4年度から行っている家電付き県営住宅を低廉な家賃でお貸しするいわてお試し居住体験事業や、Wi-Fi 付き県営住宅を比較的安い家賃で提供する若者・地域応援住宅支援事業により支援をしているところ。

**河野 通洋 構成員**

- ・ 沿岸地域の貧困率や各市町村の平均所得等のデータを把握しているか。地域で暮らしている方が抱えている不安を解消しない限り少子化問題を解決できないと思う。県の予算なのでバランスをとらないといけないのは理解した上で、重点的に解決しなければいけない部分に関しては、きちんと数字の把握をする必要があると思うので、現状の数字とその具体的な対策について教えていただきたい。併せて、世界三大漁場の一つである三陸沖が厳しい状況である今、沿岸地域の客観的に見た他地域と差別化できる強みが何で、それをどのように生かしていくかも教えていただきたい。

**菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長**

- ・ 貧困率の数字は把握している。所得の向上に結び付くような取組を含めた少子化対策については、様々な切り口から一体的に取り組んでいく必要があり、部局横断で対策を進めているところ。また、今年度は、小規模の村でワークショップを行い、町村の課題を抽出するなど、市町村の取組を県が支えるという形で取組を進めているところであり、皆様にも分かりやすく届けながら、引き続き取り組んでいきたい。

**梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ 地域の魅力や強みは、ジオパークやみちのく潮風トレイル等たくさんあるが、ニューヨーク・タイムズ紙にて盛岡市は、都会にはない人々の暮らしが体験できるということということで高い評価を受けた。これは、沿岸地域も当てはまることであり、内陸や大阪万博が開催される関西から来てもらえるよう、魅力のあるまちであることをしっかり PR し、交流人口の拡大に向けて取り組んでいきたい。

### **工藤 飛雄馬 水産部長**

- ・ 世界三大漁場と言われた三陸沖が非常に厳しい状況になっているのは、おっしゃるとおりだと思う。岩手県の沿岸は、入り組んだ入江を有していることから他地域と比べて養殖生産に有利な地理的条件がある。現在、各地域でサーモン養殖が開始されているが、波当たりが弱く、親潮の影響を受けにくいことから、宮城県をはじめとした他地域よりも優位性があると考えている。県としては、サーモン養殖を拡大するとともに、リアス式海岸での養殖の振興を進めていきたいと考えている。

### **佐藤 智子 構成員**

- ・ ボランティア活動を行うに当たり、会員から徴収する年間1,000円の会費や国の自殺対策強化事業費補助金、傾聴の勉強会で頂戴する講師料、寄附金等により活動できているが、会員の高齢化や減少、復興庁の支援が令和7年度で終了することから、会の運営が大変な状況。ボランティア活動といっても無償ではできず、傾聴の啓発グッズや旅費が必要であり、物価高騰や公共交通の縮小でさらに活動資金が必要なので、今後も補助金等の御支援をお願いしたい。
- ・ 傾聴とは、相談者の心に寄り添い、相談者自身が気づきを得たり、心を整理したり、前向きになるように支援するものだが、相談＝即解決を望む方が多いように感じている。皆さんに知ってもらえるよう私たちも勉強し、努力しているところであるが、周知の方法を御検討いただくなど、一緒に取り組んでいただきたい。
- ・ 高齢化と担い手不足で、養成講座やフォローアップ研修を行っていただいております。勉強していただく方は多くても、ボランティアとして活動する方がなかなかいない状況。会員を増やすためにいろいろ工夫しているが、御協力いただきたい。

### **菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長**

- ・ 傾聴ボランティアについて、日頃から御協力いただき本当にありがとうございます。
- ・ 傾聴ボランティア活動予算について、岩手県は自殺率が全国的にも高いことから、県を挙げて自殺対策に取り組んでいるところであり、国や県の予算などの様々な資金を活用しながら皆様と一緒に取組を進められるようにしているところ。復興庁のこころのケアに関する予算については、国に対して継続のための働きかけをしており、引き続き働きかけを行っていく。また、自殺対策として様々なメニューがあるので、その情報提供を行いつつ、保健所と一緒にできる部分は、様々な機会を捉えてお声がけさせていただきたい。
- ・ 人材・担い手確保のため、傾聴ボランティアのフォローアップ講座や養成講座等を各保健所で開催しており、引き続き実施していきたいと考えている。
- ・ 傾聴に関する周知については、アイばあちゃんというキャラクターを作り、ホームページやチラシ等で普及・啓発し、また、様々な機関で対応できるように横のつながりを作りながら取り組んでいるところ。周知や普及・啓発については、今後も皆様の御協力いただきながら取り組んでいきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

#### **佐々木 淳子 構成員**

- ・ 佐藤構成員からも話があったが、私も、おとなりさん倶楽部という高齢者の生活支援を7、8年行っており、食生活改善推進員としても活動している。ボランティアということで、自らの会費で活動しているところ。奉仕の心だけで支え合っているような状況であり、ぜひ御支援をお願いしたい。
- ・ 先ほど河野構成員から話があったように、釜石湾では、今年度一度もアワビが開口していない。唐丹湾や山田では、一度、二度くらいはあったようだが、海況が悪く口止めになった。ホタテの貝毒や、アワビの値段の低下などもあり、業者はともしんどい思いをしている。磯焼けが一つの原因となっているが、新おおつち漁協青年部の藻場再生を目指した活動発表が最優秀賞、私も優秀賞をいただき、3月の全国大会にて、活動発表をしてくる。活動の全ては、水産部の普及員の指導のおかげであり、今後とも御指導をよろしくお願いしたい。

#### **菊池 恭志 保健福祉環境部長兼岩手県釜石保健所次長**

- ・ 高齢者支援や食生活の関係について、直接の担当は市町村だが、県としても市町村と一緒に取り組んでいるところなので、いただいた御意見を市町村にもつなぎつつ、活動のあり方を考えながら進めていければと考えているので、引き続きよろしくお願いしたい。

#### **工藤 飛雄馬 水産部長**

- ・ 釜石湾のアワビの口開けがなかなか進まないということで、新おおつち漁協や釜石東部漁協、唐丹町漁協で口開けはそれぞれ進めているところだが、地域によっては波当たりや濁りが原因で大変な状況だと思っている。アワビの入札価格が下がっていることに関して、ALPS 処理水放出による日本の水産物の輸出停止の影響が出ていると伺っている。このことについては、県漁連が中心となって早期補償の交渉を進めていると伺っており、速やかに補助金が支払われるよう国に対して要望しているところ。
- ・ ホタテの貝毒の長期化については、非常に大きな問題だと考えている。対策について、まずしっかりとモニタリングを行い、発生要因を分析の上、今後の対策を研究機関が中心となって検討を進めているところ。また、アワビやウニの痩せ貝が多かったり身入りが悪かったりする問題の原因となっている磯焼けの進行に関しては、県としても、漁場へ海藻類が付着できるブロックを投入するハード対策と、ウニの食害を防ぐための駆除活動のソフト対策を合わせて進めているところ。
- ・ 女性部の活動発表については、受賞おめでとうございます。全国で発表していただき、よい結果を持ち帰ってきていただければありがたいと思う。女性部の活動について、引き続き、しっかりと応援していきたいと思っているので、よろしくお願いしたい。

#### **金澤 辰則 構成員**

- ・ 空き家対策について、振興局に対応していただける部局があるのか、また、どのような相談に乗っていただけるのか。

- ・ 若者の定着支援について、いろいろな事業をされているかと思う。沿岸圏域の高校生が圏域外の大学や専門学校に進学した場合、できれば地元に戻って就職・定着してもらいたいのだが、今の大学生は、一昔前だと求人サイトに登録してそこで就職先を探していたところ、現在は、エージェントという第三者が仲介する形で、学生と企業がほとんど接点を持たずに就職先を決める傾向が強い。地元の小さい企業はエージェントの企業リストに載らず、選択肢に入らないことが想定されるが、このことに対する対策や一度進学で地元を離れた若者を呼び込む施策は考えているか。
- ・ 新しく国でふるさとミライカレッジという施策があり、インターンシップのような形で地方の仕事を体験してもらい、将来的な就職の選択肢に入れてもらうということだが、単独の自治体だと運営が難しいと思われる。県の地域振興室にも別の会議で提案させていただいたが、そのようなものを広域振興局で音頭をとっていただく形で運営できたら可能性が広がると思う。その可能性も含めお聞きしたい。

#### **畠山 剛 経営企画部長兼復興推進室長**

- ・ 空き家に関する窓口は、県庁であれば建築住宅課。振興局であれば、全体的な窓口である経営企画部に御相談いただければ橋渡ししたいと思う。

#### **工藤 直樹 局長**

- ・ 空き家対策というのは、人が住まなくなった危険な空き家をどうするかということか、人が減り空き家が増えてきていることについてどうするかということか、問題の意識としてはどちらの感じなのか。

#### **金澤 辰則 構成員**

- ・ 空き家が多く移住者を受け入れる際に空き家の整理や貸出まで至らず、例えば、空き家の残置物や老朽化が移住者にとってはリスクとなることから、自治体へ相談してもなかなか難しい。そのような場合に県の方にも相談できればありがたい。

#### **工藤 直樹 局長**

- ・ 第一義的には各市町村が窓口で対応されており、解決の方向性がそういうことであれば、県庁の方に相談しながら進めるというのが一つ。
- ・ 移住定住をどのように促進するかということについては、県庁の方でも担当課があり、振興局でも経営企画部の方で全体的な移住定住の促進に関して対応している。御相談は経営企画部の方で対応するので、引き続きよろしくお願ひしたい。

#### **梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ 若者の定着支援について、雇用の観点では、キャリア教育として中高生を対象に企業の紹介や企業見学会を実施しているが、高校卒業してすぐ就職する方に地元の企業を知ってもらうことのほか、大学卒業後に地元企業に就職してもらうことも目的として取り組んでいる。

- ・ また、関係機関の方から、そもそも沿岸には働き口がないのではないか、水産加工業者はあるが流れ作業しかないのではないかという話をお聞きすることから、管理部門や研究開発部門等、様々な人材が必要であることを訴えていきたいと考えており、様々な分野の仕事・高度な教育を受けた方も受け入れる会社があるということをPRしていきたいと考えている。

#### **植野 歩未 副局長（宮古市駐在）**

- ・ 宮古地域では、雇用対策協議会が主催で、振興局・市町村・ハローワークも共同でふるさと就職相談会をお盆の時期に開催している。とても好評で、そのような機会を通じて企業と直接面談できる場を設けている。

#### **梅澤 貴次 経営企画部産業振興室長**

- ・ プラットフォームの話については、移住定住の関係で市町村と連携し横の繋がりが強化されており、引き続き、今年度構築した横の繋がりを大事にしながら移住定住の促進に取り組んでいきたい。

## **（6） その他**

#### **佐々木 千津子 経営企画部企画推進課長**

- ・ 今年度の地域連携懇談会と現構成員の任期中の地域連携懇談会は、今回が最後の開催となる。次期構成員として就任をお願いする際には、御承引いただくとともに、引き続き、当振興局の施策の推進に関して、御指導と御協力のほどよろしくお願いいたします。

#### **工藤 直樹 局長**

- ・ 長時間にわたり貴重なお話を賜り、本当にありがとうございました。
- ・ 佐々木 康行構成員からニホンザルについてお話いただいたが、住田町も県に要望をいただいております。現在、来年度の県の予算編成に向け、そのような要望を踏まえて検討を進めているところ。
- ・ 河野構成員からお話のあった評価の件は、表現の見直しについて検討させていただきたい。
- ・ 荒谷構成員から外国クルーズ船のお話をいただいた。引き続き、しっかり検討しながら取り組んでいきたい。また、こころのケアについては、国の方に必要性をしっかりと伝え、引き続き対応ができるように進めていきたい。
- ・ 佐々木 康行構成員からお話いただいたデジタル技術の活用について、予算の確保等の課題はあるがとてもよいお考えだと思う。また、佐々木 朗希選手によるPRについては、本庁とも相談し、機会があればぜひ実現できるとよいと思う。
- ・ 内金崎構成員からお話いただいた地域おこし協力隊の地域定着については、振興局としても移住定住や地域おこし協力隊員の地域定着に取り組んでいるところであり、引き続きしっかり取り組んでいきたい。
- ・ 佐藤構成員からお話いただいた傾聴ボランティアについて、振興局としても一緒に考えていきたいと思う。また、国に働きかけをしていきたい。

- ・ 佐々木 淳子構成員からお話しいただいた水産業の関係では、県としても磯焼け対策等に取り組んでいるところであり、引き続きしっかり進めていきたい。また、優秀賞で今度発表されるということで、ますますの御活躍を期待しています。
- ・ 金澤構成員からお話しいただいた移住定住については、昨年度から9市町村との連絡会議を立ち上げて移住定住や地域おこし協力隊員の地域定着の促進に取り組んでいるところであり、先ほどの貴重な問題提起・提案についても市町村と一緒に取り組んでいきたい。
- ・ いろいろと貴重な御意見をいただいたので、今後の施策の検討に当たり参考とさせていただき、しっかりと進めていきたい。
- ・ 現構成員の皆様は、本日が任期中最後の懇談会ということで、2年間又は4年間にわたり多くの貴重な御意見をいただき本当にありがとうございました。振興局としましては、今後も皆様の御支援・御協力をいただきながら、よりよい復興の推進、新しい三陸の創造に向けて一層取り組んでいきたいと考えているので、引き続きお力添えを賜りますようよろしくお願いします。本日は、本当にありがとうございました。

## (7) 閉 会